

提出日：平成 20年 1月16日

第2回「情報活用型授業を深める会」参加報告書

篠澤 和久（東北大学大学院情報科学研究科 准教授）

調査・場所
第2回情報活用型授業を深める会（会場 せんだいメディアテーク）
日程
2008年12月27日
参加者
関本英太郎(教授)・窪 俊一(准教授)・篠澤和久(准教授)
目的
情報活用型授業に関する現場での取り組みや最新の動向について勉強するため
概要および成果
<p>概要</p> <p>1. 栗原市立大岡小学校の公開研究会の報告</p> <p>東北学院大学准教授の稲垣忠先生から、教育現場において教科ごとにどのようなICTの利用が考えられるについて紹介があった。</p> <p>2. 情報活用型授業と伝え合う力</p> <p>金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校の八崎和美先生から、附属小での教科の中での情報活用を意識した授業づくりや、伝え合う子どもたちを育てる学級経営についての取り組みの紹介があった。NHK「わくわく授業」「教室のIT革命」など、八崎先生が子どもたちとともに出演した番組映像で題材としながら、子どもたちが「本気で伝え合う」情報活用型授業の可能性について情報および意見交換を行なった。</p>
<p>成果</p> <p>ICTの利用がどのように授業の効率を高め、また生徒の学習意欲を引き出せるのか、というテーマは、今後も検証していかなければならない課題であるが、大岡小学校での研究会の報告、および、金沢大学附属小での取り組みの紹介は、一つのモデルケースとして参考になるものであった。ICT機器に振り回されることなく、あくまでも生徒の立場・目線での効果的な活用法をどのように現場に普及させていくのか、これは本プログラムが取り組むべき重要な課題の一つである。今回の研究会でも、現場で教える先生方の「熱意」が教育の根本であることを改めて痛感できた。そうした熱意をもった先生方に組織された本研究会に参加し、意見交換していくことは、本プログラムに裨益すること大であると実感できた。</p>



稲垣先生発表風景



質疑応答風景



八崎先生発表風景